

大阪は‘まち’がほんまにおもしろい

大阪 OSAKA あそび歩 ASOBO

恋風の身で、北新地蜷川跡を辿れば ～この世の名残、夜も名残。死にに往く身をたとふれば～

バーやクラブ、飲食店の営業店がざっと3000店も密集している北新地。そのはじまりは、元禄元年(1688)に河村瑞賢が淀川支流の改修工事をおこなった際、堂島川や蜷川の浚渫土砂で「堂島新地」が生まれたことによります。爾来320年、江戸時代には堂島に公認の米会所が存して日本経済の中心地となり、曾根崎新地は現在にいたるまで日本を代表する遊興街として全国にその名を知られてきました。

⑧ 河庄跡碑・蜷橋跡碑

近松門左衛門の最高傑作『心中天の網島』に登場し、遊女小春と紙屋治兵衛が逢瀬を重ねた茶屋です。新地本通沿いにあったとされています。河庄跡碑の近くには蜷川の碑もあります。御堂筋と堂島上通の角には蜷橋跡の碑もあります。

⑨ 露天神社(お初天神)

近松門左衛門の『曾根崎心中』に描かれたお初・徳兵衛が心中を果たした曾根崎の森の天神社です。ふたりは曾根崎新地の人目を避けるように北へ迂回し、いまの駅前第三ビル、第四ビルの間を抜けてたどり着きました。神社の起源は6、7世紀、難波八十島祭旧跡の一社で曾根の神を祀ったとされています。菅原道真公が左遷されたとき(901)に当地で詠んだ「露と散る涙に袖は朽ちにけり都のことを思い出づれば」という歌が社名になったといわれています。

① 梅田橋跡と蜷川(しじみかわ)


現在の新地本通と堂島上通の間に蜷川(別名・曾根崎川)が流れていました。その川がいまの御堂筋と交差するところに蜷橋、いまの四つ橋筋には桜橋、さらに西へ田蓑橋の筋、堂島3丁目交差点あたりに梅田橋が架かっていました。天保13年(1842)に公認の遊所地となった北の新地(つまり曾根崎新地)の中心地は梅田橋周辺で、『心中天の網島』の小春と治兵衛の道行きがはじまる大和屋もここにありました。蜷川は、明治42年の「北の大火」のあと埋め立てられ、現在の地形になりました。

② 浄祐寺

北の新地の遊女たちの信心を集めたのがこの浄祐寺。ここに遊女菊野をめぐって実際に起こった5人殺傷事件の犠牲者の墓があります。この事件は、遊女が心変わりしない証拠に三味線に書いた「五大力」という文字を「三五大切」と書き換えたところから起こりました。墓には「五大力の墓」とあります。この事件をもとに歌舞伎の『五大力恋緘(ごだいきこいのふうじめ)』が演じられ、評判をよびました。また、浄祐寺には赤穂浪士矢頭長助(やとうちょうすけ)、右衛門七(えもしち)父子の墓があります。長助は討入り前に死亡し、右衛門七が父の遺志をついで討入りを果たします。江戸へ向かうには右衛門七には路銀がなく、里人から借金をして出立します。このことを知った大石良雄が里人に借金を返済し、里人はのちに父子の墓を建てたということです。また新地には、淡路屋の遊女お初と心中して討入りを脱落した橋本平左衛門の話もあります。

③ 大阪堂島市役所跡

明治22年、市制発足とともに江之子島に初代市役所が建てられましたが、明治45年には堂島に移され、2代目の市役所になりました。大正10年に中之島の現在地に移転するまでここに存在していました。



「なにわ今昔」より

④ 出入橋・梅田運河

明治7年に曾根崎の現在地に大阪駅が建設され、その後、鉄道と海運を結ぶために、駅の西側から現在の阪神高速の架かる道路沿いに梅田運河が掘られ、蜷川と交差して堂島川につながっていました。蜷川(当時このあたりでは福島川)に架かっていた橋が緑橋、梅田運河に架かる橋が出入橋です。阪神電車も開業当時は出入橋が起点でした。

⑤ 桜橋跡碑

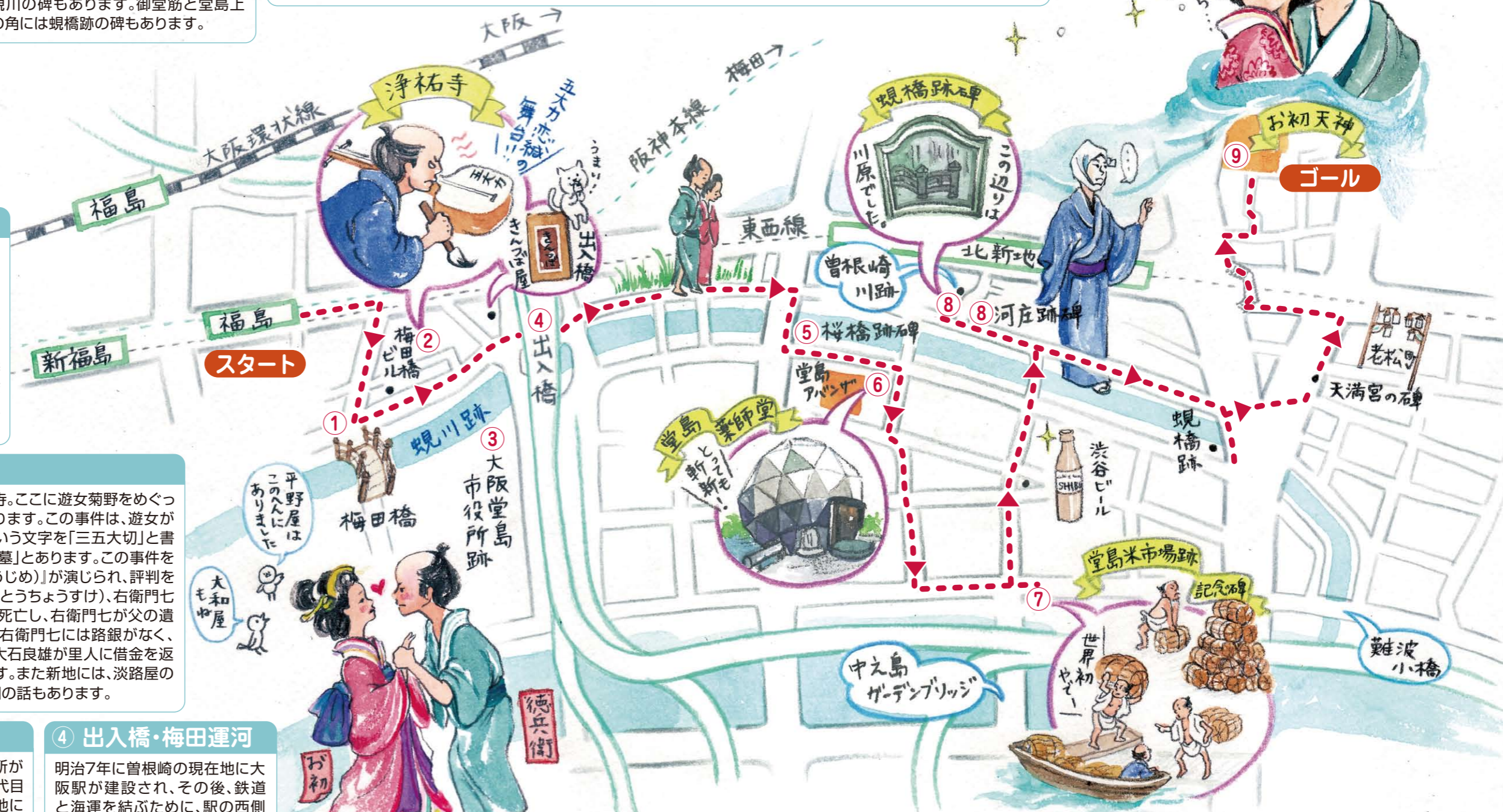
蜷川に現在の四つ橋筋に架かっていた橋が桜橋で、堂島アバンザの北側に碑があります。

⑥ 堂島薬師堂

聖徳太子の頃からここに薬師如来のお堂が祀られてきて、それが堂島の名のいわれだともいわれています。堂島アバンザの建設のときに127枚のミラーガラスを組み合わせた新しいお堂が完成しました。

⑦ 堂島米市場跡

堂島新地が開発された後に中之島の米市が堂島に移され(元禄10年1697)、以来、日本の米相場がここで決定されました。中之島ガーデンブリッジ北詰に記念碑があります。周辺には各藩の蔵屋敷が立ち並び、大坂が日本経済の中心地として栄えました。明治2年に石建米売買が禁止され、さらに明治4年の廃藩置県で蔵屋敷は廃止されて国有化され、後に民間に払い下げになり、現代に通じる新しい事業所がこの一帯に進出して、大阪の文明開化をリードしました。



【注意事項】この地図は「大阪あそ歩」のまち歩き資料として作成されました。まち歩きには、歩きやすい服装と靴を着用してください。車などによく注意し、各自で責任をもって行動してください。また、住宅地では住民のプライバシーに十分配慮して歩きましょう。
【お問い合わせ】大阪コミュニティ・ツーリズム推進連絡協議会「大阪あそ歩」事務局 電話06-6282-5930(財団法人大阪観光コンベンション協会内) 「大阪あそ歩」の詳しいプログラムはホームページをご覧ください。 <http://www.osaka-asobo.jp> または「大阪あそ歩」でネット検索を。